

# 女性委員長特別賞

## 座でくつろぎ、壁で学ぶ ～畳階段と本棚のある住まい～

神奈川県 | 神奈川県立向の岡工業高等学校 選手 / 3年生1名



今回の建築甲子園のテーマは「地域のくらしー地域に根ざした新しい和室を持つ戸建ての住まい」として、現代の住まいにおいて「和室」が無くなりつつある中で、みなさんが和室について学び斬新なアイデアを出されたのを見ることが出来ました。

この作品は階を移動するための階段に、畳による「くつろぎ」と本による「学び」を組み合わせた「畳階段」を住まいの中心に配置しています。移動、憩い、学びが共存する事により、畳のくつろぎと本の学びとの相性の良さが強調され、階段の中央には木が植えられていて、とても魅力的な空間となっています。

また2階は、壁の代わりに本棚が配置されていて、風通しが確保された本に囲まれた部屋となっており、1階にも2階にもリビングが配置されていて人の居場所となるたまり場が多く、この住まいの居心地の良さや人々の交流が目に見えました。テーマである「地域に根ざした」という「外部との繋がり」が弱いという点、ガラス張りの畳階段が屋外から見えるのが本の背表紙の反対側という点、地震などの際に本棚の本が階段の避難経路を塞いでしまうリスクなど、改善を望まれ



る点はありませんでしたが、しかしながら畳階段でのくつろぎと本に囲まれるという空間の魅力がこれらを大きく上回り惹きつけられたため、女性委員長特別賞として選出させていただきました。これからもこのような魅力的な住まいを作り出されますことを期待しています。 (石貫方子)

# まちづくり委員長特別賞

## 彼女の心を繋ぐ家

～一人リノベーション×フレキシブルなレール走行式リフト～

鹿児島県 | 鹿児島県立加治木工業高等学校 選手 / 3年生1名



本提案は、高齢化社会が進行する中で、戸建住宅内で長く気持ち良く暮らしてもらうために天井レール走行式リフトを備えた新しい和室のかたちを求める意欲的な提案となっています。

従来のものは、吊りレールや可動機械部分が大きく、戸建住宅の室内にはなじませ難いという点に着目し、台所や水回り以外の空間は動いていても安心感のある畳敷きの和室とし、天井は和室となじみの良い格子天井としてそこに走行レールを仕込むことで、格子の中を比較的自由にものを動かせるようにした、親しみやすく、なじみやすい新しい和室となっています。レールに沿って動かすモノは、机、椅子、棚、台といった家具類ですが、これが動かせることでどのくらい身辺自立の助けになるかということについては、「気軽にレイアウト変更ができ、運動にもなる」とだけしかなく、物足りなさを感じました。高齢者が家の中を動きやすくするための補助具として、もっと積極的な活用をはかるためには、吊り方にどんな工夫が必要かとか、台所や浴室廊下内にも格子天井(レール)を延伸させる等が考えられるのではないのでしょうか。

地域の現状、新しい和室というテーマをしっかりと見据えるために、お



世話になっているご近所様の気持ちに寄り添ったリノベーションを課題として取り上げ、しっかりとした立ち位置としたことも評価し、まちづくり委員長特別賞を贈ります。  
(清水耕一郎)